

タンク建設進捗状況

2019年11月28日

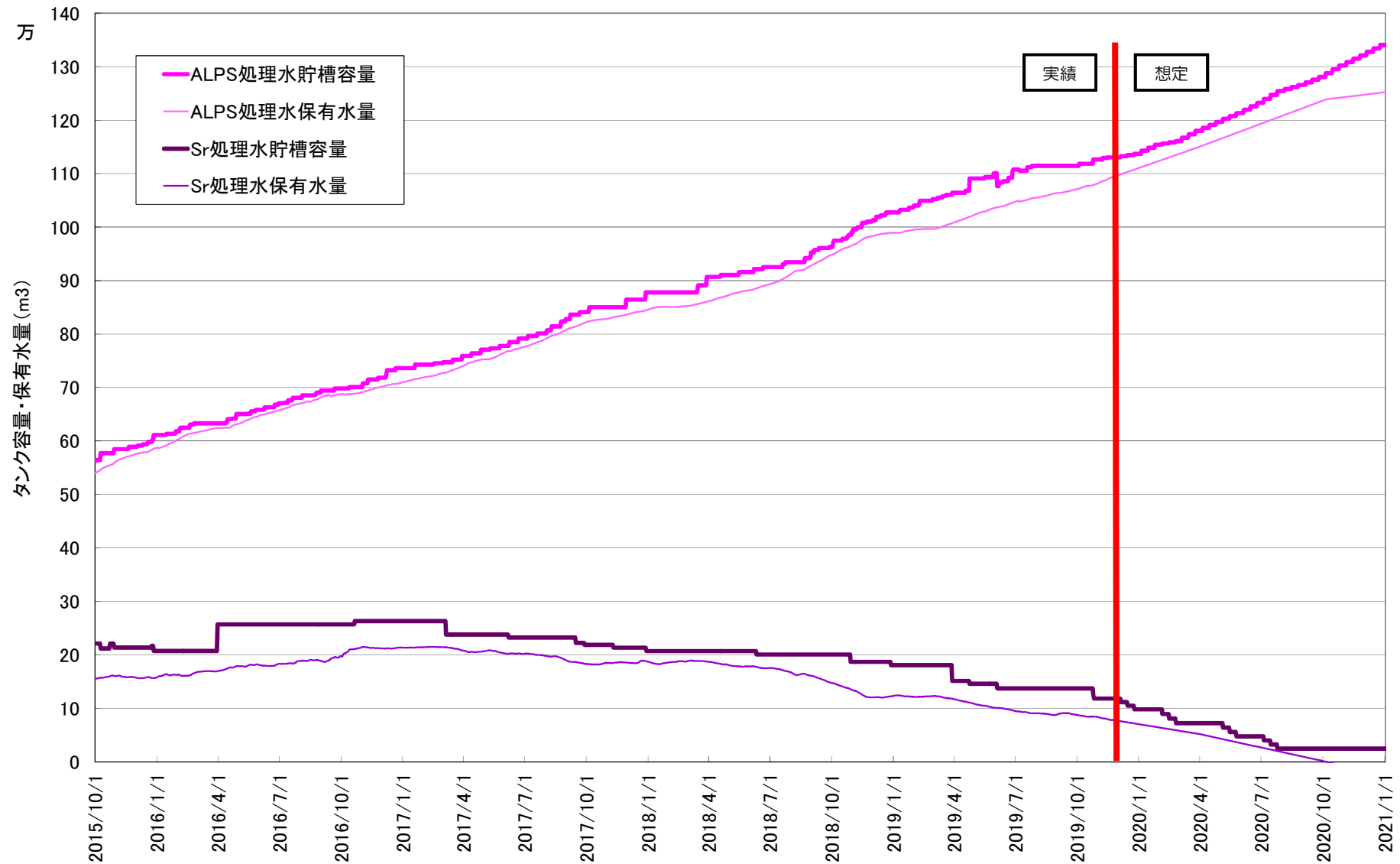


東京電力ホールディングス株式会社

1-1. タンク容量と貯留水量の実績と想定

水バランスシミュレーション（サブドレン他強化＋陸側遮水壁の効果）

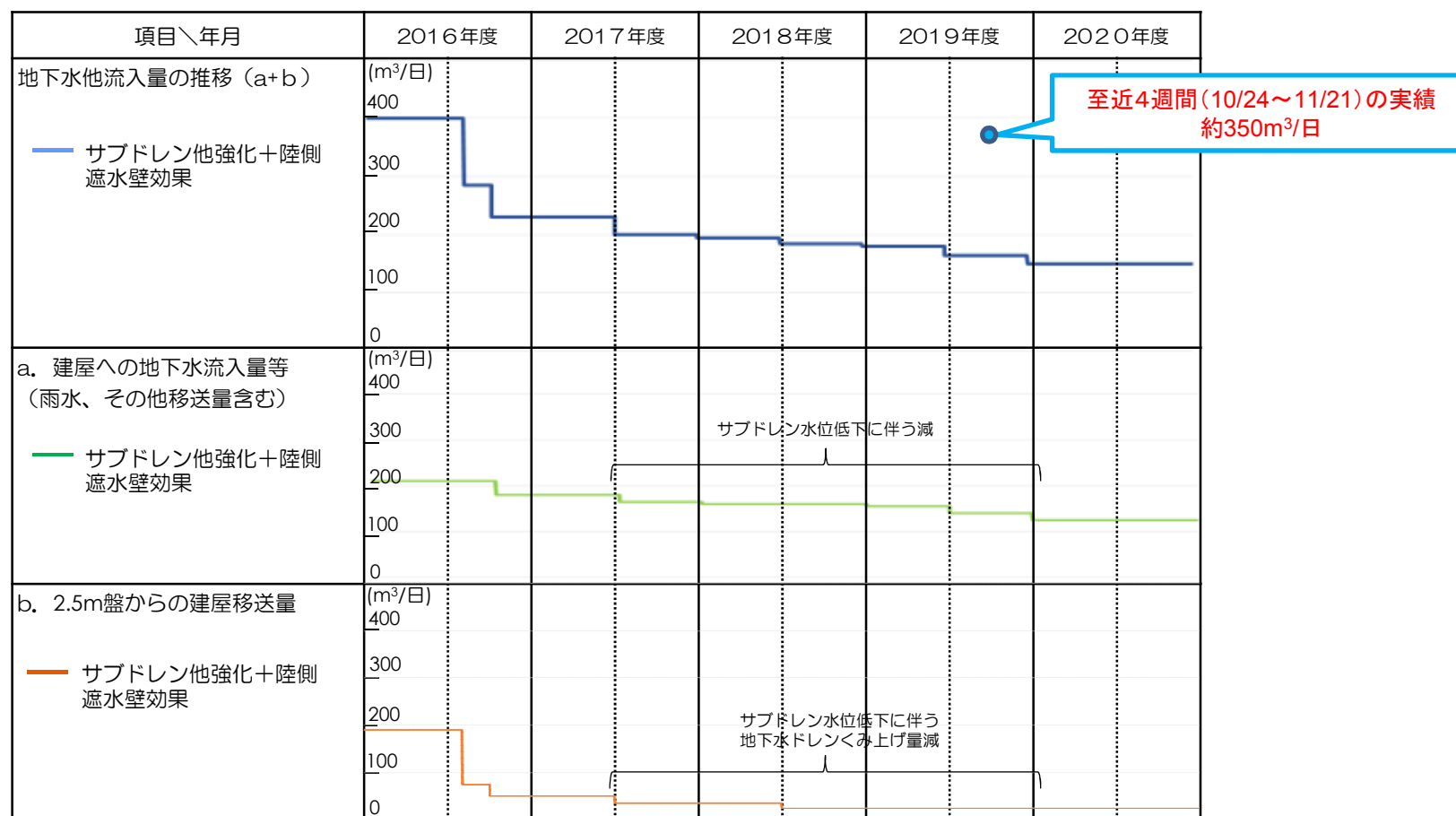
TEPCO



1-2. 貯留水量の想定に用いる地下水他流入量の想定条件と至近の実績

水バランスシミュレーションの前提条件

➤ サブドレン+陸側遮水壁の効果を見込んだケース



2-1. 溶接タンク建設状況

タンクリプレースによる溶接タンク建設容量の計画と実績は以下の通り（～2020年3月）

溶接タンクの月別建設計画と実績

下線は計画

単位：千m³

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
2018	4.8	10.5	23.7	13.9	3.6	8.7	19.4	14.4	15.2	12.7	12.3	11.0	150.2
2019	26.9	10.0	31.0	9.1	0	0	11.9	<u>5.3</u>	<u>9.2</u>	<u>7.9</u>	<u>5.3</u>	<u>11.9</u>	<u>128.5</u>

タンク容量の確保計画と実績（全体※1）

	計画 (2020.12.31時点)	実績※2 (2019.11.21時点)	タンク容量確保目標 ：約510m ³ /日(約270m ³ /日※3) (2019/11/21～ 2020/12/31) [建設・再利用合計]
タンク総容量	約1,365千m ³	約1,158千m ³ (約1,255千m ³ ※3)	

※1：水位計0%以下の容量（約2千m³）及び日々の水処理に必要なSr処理水用タンク（約24.7千m³（既設置））を含む

※2：「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について（第428報）」にて計算

※3：Sr処理水用タンクからALPS処理水用タンクとして再利用する分（約97千m³（既設置））を含む

2-2. タンク進捗状況

1. タンク建設・解体関係

エリア	全体状況
C・E	フランジタンクの解体作業中。
H6	2017/3/28 地下貯水槽No.5（H6北の北側）撤去作業着手。 2017/6/26 地下貯水槽No.5撤去完了。 2017/9/11 H6エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/2/16 H6北エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/9/12 H6エリアタンク設置開始。 2018/9/20 H6・H6北フランジタンク解体・撤去完了。 2019/11/8 タンク設置完了
G1	2019/2/27 鋼製横置きタンク撤去完了。 2019/4/1 タンク設置開始。 地盤改良・基礎構築・タンク設置実施中。
G4	2018/9/13 G4南フランジタンクの解体作業着手。 2019/3/21 G4南フランジタンク解体・撤去完了。 地盤改良・基礎構築実施中。

2. 実施計画申請関係

エリア	申請状況
G4北、G5	タンク解体分：2019/5/22 実施計画変更申請 11/22 実施計画補正申請

3. フランジ型タンク/溶接型タンクの運用状況

- フランジ型タンクの淡水について、現在Sr処理水が貯留されている溶接型タンクを再利用し貯留する計画。タンクの再利用にあたり、実施計画の進捗状況を踏まえ、2019年11月26日よりフランジ型タンクから溶接型タンクへ移送開始。2019年12月頃に移送完了する見込み。上記時期見直しによる溶接型タンク内Sr処理水の再利用予定の処理完了時期に変更なし（2020年8月頃）。

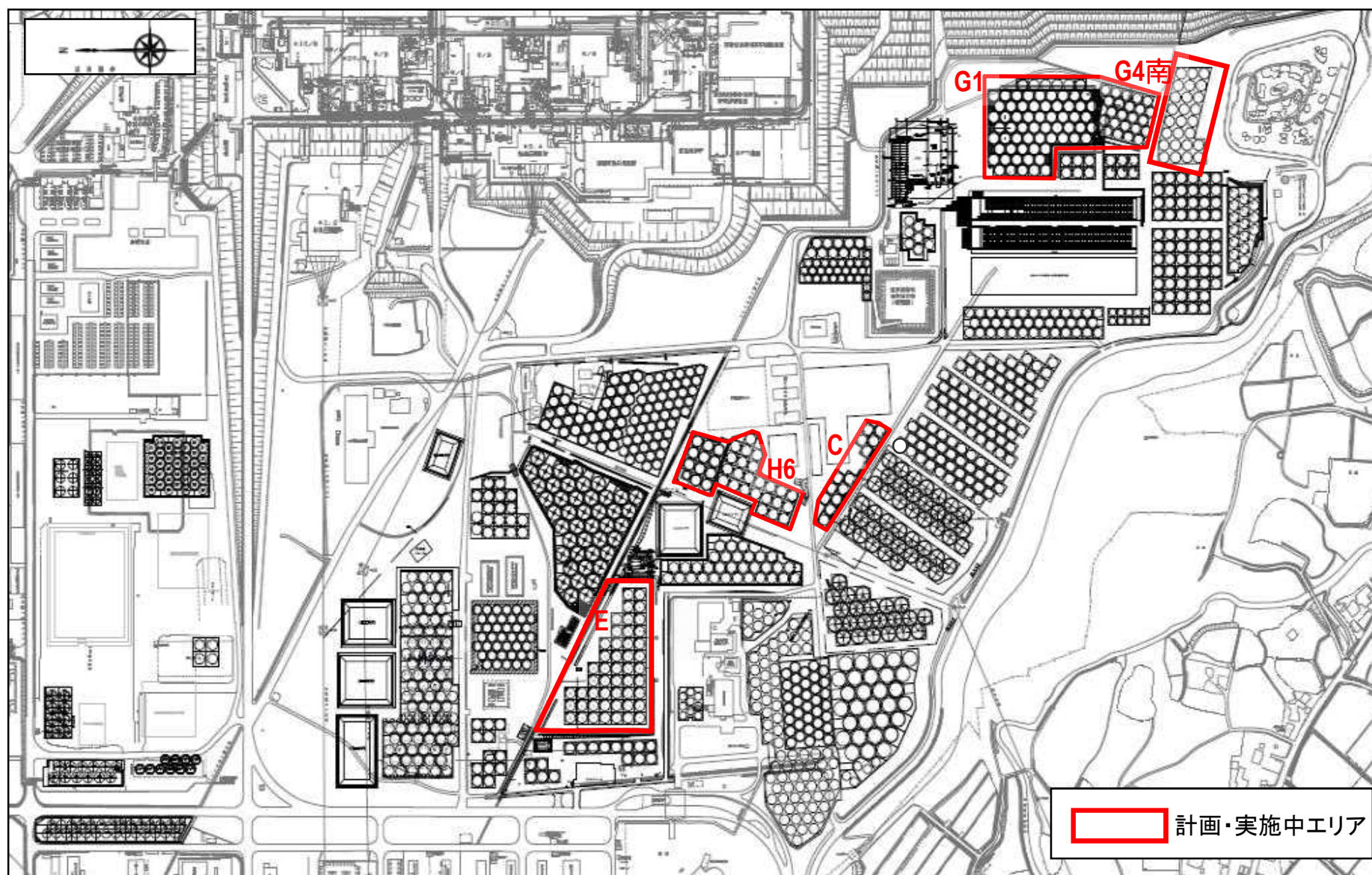
< タンク水一覧 >

2019.11.28時点

対象		設備容量	ステータス	処理完了時期	
フランジ型 タンク	Sr処理水		残水 (約0万m ³)	完了	2018年11月17日
	ALPS処理水		残水 (約0.01万m ³)	完了 (一部残水処理中)	2019年3月27日
	淡水 (一時貯留タンク)		約1.2万m ³ [12基]	2019年11月26日より 溶接タンクへ移送中	2019年12月頃
溶接型 タンク	Sr処理水	運用タンク (一時貯留タンク)	約2.5万m ³ [24基]	運用中	—
		ALPS処理水タンク として再利用予定	約9.7万m ³ [93基]	2018年12月より 水抜き実施中	2020年8月頃
	ALPS処理水		約114.0万m ³ [852基]	貯留中	—

【参考】タンクエリア図

TEPCO



【参考】汚染水発生量の予測と実績について（2019/11/21迄）

